



2024年
6月5日
No.A24-02

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2024年5月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

- ・5月22日(水)、山崎 幸二 前統合幕僚長
「台湾有事が我が国の安全保障に及ぼす影響
～軍事の観点から～」(於：オークラ東京)



<要旨>

台湾を巡る全般情勢を概観した後、中国・台湾各々の観点から詳細な分析がなされた。その上で、台湾有事が日本の安全保障に及ぼす影響について、日本が台湾海峡の平和と安定の維持に向けて果たすべき対応を念頭に説明がなされた。

(2) 中東情勢分析発表会

- ・5月30日(木)、研究主幹 青木 健太「イラン「抵抗の枢軸」の様態とイラン・イスラエル対立」、研究主幹 高尾 賢一郎「ガザ危機の拡大と域内諸国の対応——GCC 諸国を中心に」
(Zoom形式)



<要旨>

イランの戦略的観点や「抵抗の枢軸」諸派との関係について説明し、イランとイスラエル(米国)関係の展望についても考察した。質疑では、フーシー派の紅海での活動目的やガザへの人道支援方法などの質問が出た。



<要旨>

GCC 諸国の中東和平への対応や、対イラン及び対イスラエル関係について説明し、パレスチナ問題への関与の今後について考察した。質疑では、ハマースとの関係をめぐるカタールの立場や、パレスチナ問題解決の見通しなどの質問が出た。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- 2024年5月号（2024年6月5日付）
- 1. イラン：ライシー大統領がヘリコプター墜落事故で死亡
- 2. イスラエル：ガザ戦争の推移と内外で強まるネタニヤフ首相への圧力
- 3. トルコ：商務省がイスラエルとの貿易停止を発表
- 4. パレスチナ：パレスチナ国家承認の動き
- 5. エジプト：イスラエル人への発砲事件、両軍間での銃撃戦
- 6. アフガニスタン：ターリバーンによる諸外国・機関との積極的関与
- 7. サウジアラビア：サルマーン国王が肺炎治療

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東かわら版の発行

- No.16「カタル：LNG船の建造プロジェクト、中国企業による大型船の造船受注」（主任研究員 高橋雅英、5月1日）
- No.17「エジプト：ガス不足の深刻化を受け、LNG輸入の拡大へ」（主任研究員 高橋雅英、5月7日）
- No.18「イスラエル：ハマースとの休戦提案を拒否し、ラファフで軍事展開」（研究主幹 高尾賢一郎、5月10日）
- No.19「シリア：バアス党最高機関の改選」（協力研究員 高岡豊、5月10日）
- No.20「アフガニスタン：北東部バダフシャー州でターリバーンへの抗議活動が発生」（研究主幹 青木健太、5月10日）
- No.21「アフガニスタン：北東部バグラーン州等で洪水被害が発生」（研究主幹 青木健太、5月13日）

- No.22「カタル：エジプト沖合での資源権益を取得」（主任研究員 高橋雅英、5月15日）
 - No.23「イラン：インドとチャールハール港の運営・開発に関わる10年間の協定に合意」（研究主幹 青木健太、5月15日）
 - No.24「クウェイト：首長による議会解散、憲法停止、新内閣の発足」（研究主幹 高尾賢一郎、5月15日）
 - No.25「イラン：ライシー大統領らが搭乗するヘリコプターが不時着、死亡が発表」（研究主幹 青木健太、5月20日）
 - No.26「UAE：米国LNG事業への初参入」（主任研究員 高橋雅英、5月22日）
 - No.27「シリア：北東シリア自治当局に対し小麦の買い付け価格について抗議行動が起きる」（協力研究員 高岡豊、5月28日）
 - No.28「UAE：モザンビークでの天然ガス権益を取得」（主任研究員 高橋雅英、5月30日）
- (<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(3) 中東分析レポートの発行【会員限定】

- No.1「イラン・イスラエル間の攻撃の応酬に対する評価——双方の想定され得る意図と今後への影響」（5月10日）

※内容はホームページをご参照ください

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/)

(4) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- No.3「「イスラーム国」はいつ「攻勢」を発出するのか」（5月2日）
- No.4「月刊イスラーム過激派の動向：2024年4月」（5月17日）

※内容はホームページをご参照ください

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(5) その他の活動

- 5月7日（火）、2023年度外交・安全保障事

業「中東ユーラシアにおける日本外交の役割——国家間競争の時代における大国主導の連結性戦略と地域秩序再編の実態解明」事業のコメンタリーNo.6を当会HPに掲載した。(表題：「新時代の中国の特色ある大国外交」における中東ユーラシアと「一带一路」に対する国際南北輸送回廊 (INSTC)」(駒澤大学法学部教授 三船恵美)。

・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとく A/中東を理解するキーワード」へ当会研究員が出講した。

- ①「権威主義」(主任研究員 金子真夕、5月8日)
- ②「ナショナリズム」(主任研究員 高橋雅英、5月15日)
- ③「世俗化」((主任研究員 金子真夕、5月22日)
- ④「紛争」(研究主幹 青木健太、5月29日)
 - ・5月24日(金)、2024年度外交・安全保障事業「中東ユーラシアにおける日本外交の役割——国家間競争の時代における大国主導の連結性戦略と地域秩序再編の実態解明」事業の第1回研究会を実施した。



・5月30日(木)、ダルダリ国連事務次長補 国連開発計画 (UNDP) 総裁補兼アラブ地域局長ら一行が来訪し、当調査会の研究員らと中東情勢について意見交換を行った。



3. その他 (要人往来)

- ・20日、上川外相は、サウジアラビアのファイサル・ビン・ファルハーン外相と電話会談した。
- ・20日、岸田首相は、サウジアラビアのムハンマド皇太子とテレビ会談を行った。
- ・27日、上川外相は、イスラエルのカツツ外相と電話会談した。
- ・31日、上川外相はモロッコのブリタ外務・アフリカ協力・在外モロッコ人大臣と会談した。

4. 6月の予定

- ・6月7日(金)、14:00~15:30、中東情勢オンライン講演会(鈴木 啓之 東京大学大学院総合文化研究科スルタン・カブース・グローバル中東研究寄付講座特任准教授「ガザ情勢が示唆する中東和平の行方：イスラエルの対ガザ政策の変遷・1956~2024年」)
- ・6月20日(木)、14:30~16:00、中東情勢オンライン講演会(大菅 岳史 駐チュニジア特命全権大使「『アラブの春』は、その後どうなったのか?：チュニジアにおける回顧と展望」)
- ・6月28日(金)、8:30~10:00、於：オークラ東京プレステータワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(小野 啓一 外務審議官(経済担当)「イタリア G7 サミットと日本の経済外交」) *法人会員限定

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

5. 出版物刊行のご案内

- 5月31日（金）、『中東研究』第550号（2024年度 Vol. I、定価：本体 2000 円＋税）が発行されました。本号は「抵抗の枢軸」と題する特集を組み、レバノン、イラク、シリア、イエメン、パレスチナにおける非国家主体の事例、及び、イラン革命防衛隊を取り上げた論文を掲載しました。このほか、「最近の動向」では、ガザと中東和平、イラン・アゼルバイジャン関係の変化、及び、エジプト内政について分析した論文を所収しております。是非お手にとってご覧いただければ幸甚です。

※詳細はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/publication/chutoukenkyu>)

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。